<評価の手法等>

別添1

事業名	評価項目			評価を行う過程において使用した資料等	担当部局
	費用便益分析		費用便益分析以外の 主な評価項目		
	便益	費用			
ダム事業 (代替法)	<ul style="list-style-type: none"> 年平均被害軽減期待額 流水の正常な機能の維持 	<ul style="list-style-type: none"> 事業費 維持管理費 	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時の影響 過去の災害実績 災害発生の危険度 地域開発の状況 地域の協力体制 河川環境等を取りまく状況 関連事業との整合等 	<ul style="list-style-type: none"> 国勢調査メッシュ統計 水害統計 経済センサス メッシュデータ((財)日本建設情報総合センター)等 	水管理・国土保全局

※便益把握の方法

代替法

事業の効果の評価を、評価対象社会資本と同様な効果を有する他の市場財で、代替して供給した場合に必要とされる費用によって評価する方法。

事業名	評価の方法	評価の視点等	評価を行う過程において使用した資料等	担当部局
官庁営繕事業	評価対象事業について、右の要素ごとに、評価指標により評点方式で評価するとともに、その他の要素も含め総合的に評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の必要性 ・事業計画の合理性 ・事業計画の効果 		官庁営繕部
船舶建造事業 〈巡視船〉	評価対象を整理した上で、右のような海上保安業務需要ごとに、事業を実施した場合(with)、事業を実施しなかった場合(without)それぞれについて業務需要を満たす度合いを評価するとともに、事業により得られる効果について評価する。	<p>〈巡視船〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋権益の保全 ・治安の確保 ・海難救助・海上交通安全の確保 ・海上防災・海洋環境の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ・海上保安統計年報 ・海上保安レポート 	海上保安庁